

【高等学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)
A:十分達成できている C:やや不十分である
B:おおむね達成できている D:不十分である

学校名	佐賀県立唐津商業高等学校定時制課程
1 前年度 評価結果の概要 (簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は落ち着いた環境にあるが、生活リズムの乱れにより継続的な登校ができない生徒が一定数いる。今後は保護者と連携し、学校外の生活についてもかわる必要がある。 ・いじめに関する相談はなく、年3回のアンケートでも該当者はゼロであった。友人関係を楽しむ生徒が増加しており、今後は生徒会や部活動を通じてコミュニケーションの機会を充実させていきたい。 ・ICTの利活用については、前年度からeメッセージを活用し、生徒に関しては円滑に運用できたが、保護者の登録が不十分で紙媒体との併用が必要であった。今年度は保護者の登録を徹底し、さらなる活用と業務改善につなげたい。

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	<p>【全定共通学校目標】幅広い知識と教養を身に付け、自ら考え行動する資質を育み、ふるさと唐津や我が国の発展に貢献できる人材(人財)を育成する。</p> <p>【定時制学校目標】北部地区唯一の商業科定時制高校としての存在意義を明確に持ち、生徒一人ひとりのニーズに対応した普通教科の深い学びとビジネス教育を通して、職業人として必要な豊かな人間性を育み、幅広い知識と教養を身に付け、常に当事者意識を有し、自ら考え行動できる人材を育成する。</p>
----------------------------	---

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
	<ol style="list-style-type: none"> ① 礼節を重んじ人を思いやる心を持ち、本校での学びに必要な学力を有する生徒を求めます。 ② ビジネスを学ぶことに興味・関心があり、専門的な知識・技能の修得や資格取得に意欲的に取り組むことができる生徒を求めます。 ③ 世の中の激しい変化に対応できるように自らを変え、成長するため、根気強く努力することができる生徒を求めます。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 知識・技能を活用する実践力を身に付けるため、検定資格取得の機会を設けます。 ② 教育講演会や各教科・科目の授業において幅広く外部人材を活用します。 ③ 探究活動を通じて、意欲的に地域について学び、地域行事や奉仕活動に参加します。 ④ 義務教育段階の学習について学び直しの機会を設けます。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 様々な経済活動で役に立つ確かな知識や技能を身に付け、活用できる実践力を育成します。 ② 課題解決に必要な情報収集能力と情報分析能力を育成します。 ③ 自らの適性と世の中の動きを正確に理解し、自ら判断して行動する力を育成します。 ④ 自立した人間として、他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳心を養

4 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 高校生としての生活習慣の確立 夜間定時に学ぶ生徒としての適正な生活習慣を確立し、学びに対する向上心を持続させる学校集団の形成を目指す。 ② 学力向上 日頃の授業において、常に「わかる授業」、「考える力(論理的思考力)をつける授業」を常に実践するとともに個々の能力に応じた的確で細やかな到達目標を設定することで、学習意欲を喚起し、基礎学力の向上を図る。 ③ 商業教育の充実 商業を学ぶ者として他者との差別化につながる専門的な知識・技能の習得を目指し、目標とする資格取得に全力で取り組むとともに、利他の心を育み、職業人として社会に貢献できる豊かな人間性を磨き上げる。 ④ 食育の充実 日頃の給食指導や食育に関する指導を通して望ましい食習慣を身に付けさせ、心身ともに健康な生徒の育成を図る。
------------	---

5 重点取組内容・成果指標				最終評価		主な担当者
(1)共通評価項目						
重点取組	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	最終評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	実施結果	学校関係者評価 評価 意見や提言
●学力の向上	○基礎的な文字力・計算力の定着	○文字力テスト、計算力テストを年間各7回実施(前期4回、後期3回) ・文字力テスト 昨年度は85.1%だった正答率を、今年度は90%以上を目標に取り組み。	・文字力テストについては3級レベルを中心に漢字の意味を理解し、正しく書き、会話や文章の中で適切に使う能力を育成する。 ・計算力テストについては個別指導も含め、全学年、基礎的数学技能を身に付けられるように指導する。 ・今年度は昨年度と同様に4限目に実施時間を設定する。また、計画的な学習習慣の定着を目指す。	-	-	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○授業や特別活動などさまざまな教育活動を通して、指導を行った職員割合80%以上 ○学校生活アンケートにおいて他者への思いやりや規範意識に関する肯定的回答ができていると回答する生徒割合90%以上 ○いじめの防止への取り組みについて組織的に対応できると回答する職員90%以上 ○いじめを許さない教育が行われていると考える生徒割合80%以上	・授業、特別活動などすべての教育活動において、道徳教育を念頭に置いた指導を行い、人や社会の多様性、命の大切さ、他者への思いやりの心を身に付けさせる指導を行う。 ・いじめ防止基本方針について、保護者へ周知する。 ・いじめ対応に対する研修・会議を2回以上実施する。 ・生徒情報交換会を毎月実施し、職員間で情報共有を行う。	-	-	
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に良い食事をしている」生徒80%以上 ○給食の喫食率の向上(75%以上)	・献立表、食育たより等を発行・掲示し、食習慣の大切さについて積極的に情報を提供する。 ・教科担当者と連携して、食と健康に関する内容を取り扱い、指導する。	-	-	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・学校閉庁日を設定する。 ・出退勤管理システムを定期的に点検し、定時出退勤を呼びかける。	-	-	
●特別支援教育の充実	●特別支援教育に関する教員の意識の向上	●障害特性を理解し、個々の発達課題について適切な把握及び対応を行うことができる。	・特別支援教育に関する研修会を実施する。 ・生徒の情報交換会の開催、授業担当者だけでなく教員全員で情報を共有する。	-	-	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目						主な担当者
重点取組	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	最終評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	実施結果	
○(独自評価項目・任意)	★基本的な生活習慣の確立や豊かな人間関係作りを通して、安心して学べる魅力ある学校の環境整備	★基本的な生活習慣の定着に関する肯定的回答をする生徒割合80%以上	・健康観察自己チェック表をつけることで、時間管理や体調管理についての意識を持たせる。 ・基本的な生活習慣に関する指導を行い、安心して学べる環境づくりに取り組む。	-	-	
○(独自評価項目・任意)	◎職業観・勤労観の育成 ○キャリア教育の充実と希望進路の実現	○アルバイトの就労率75%以上 ○アルバイト先の訪問を実施し、責任者との情報交換を適切に行う。また、生徒の就労状況等を把握し、進路支援等につなげる。 ○卒業予定者の希望進路決定率100%	・アルバイトを奨励しつつ、学業と両立するため支援する。 ・生徒・保護者・学校の情報共有を密にし、個々の生徒の状況に応じた指導に生かす。 ・1～3年生についてはキャリア・パスポート活用の充実を目指す。	-	-	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望 (簡潔に)	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------------	----------------------------